

# 山正ニュース

株式会社 山 正		
本社・緑化部	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4468
岐阜営業所	岐阜市市橋4-5-15	Tel <058>271-4466
可児営業所	可児市川合塚越345-1	Tel <0574>62-5228
富山営業所	富山県射水市大江207-1	Tel <0766>55-3882
飛騨営業所	高山国府町857-2	Tel <0577>72-4466

2014年8月号 (通巻63号)

## § 1 除草剤展示圃中間成績速報

～フロアブル剤やジャンボ剤に安定した効果、  
均平不良や減水深の大きい圃場では効果に振れも！～

近年は経営規模の大型化が進み、田植え後に省力的に施用出来るフロアブル剤やジャンボ剤の使用が増加していますが、今後ともこの傾向が続くものと思われます。このため、弊社の富山営業所管内において、フロアブル剤、ジャンボ剤ともに田植え後1日～1週間間に処理し、処理25～30日後の調査で、実際の効果を確認するための試験を実施しました。試験した薬剤は下表のとおりですが、いずれも実用上問題となることはありませんでしたので、次年度からの薬剤選定の参考にしていただきたいと思います。

### ○フロアブル剤

スマートフロアブル剤の効果が安定しており、カリユードフロアブル、メガゼータフロアブル、ライジンパワーフロアブル、ポッシブルフロアブルなどの剤も実用上問題となるような効果不足は認められませんでした。メガゼータフロアブルは通常の処理および水口処理とも後半になって、圃場の均平の悪い場所で若干の残草がありましたが、実施した圃場の条件によるもので、実用上の問題はないものと思われました。

### ○ジャンボ剤

ライジンパワージャンボおよびエリジャンジャンボともに安定した高い除草効果を示しました。とくに、ライジンパワーとニトウリユウの体系で実施した試験では、極めて高い効果がありました。但し、減水深が大きい圃場では、効果に若干のバラツキが認められましたので、水持ちの悪い圃場では注意を要します。

フロアブル剤	展示薬剤	設置場所	土壌	代かき	田植え	処理	評価	備考
	カリユードフロアブル	立山	砂壌土	5月6日	5月10日	5月15日	○	
	スマートフロアブル	砺波	砂壌土	5月4日	5月8日	5月14日	○～◎	
	メガゼータフロアブル	砺波	砂壌土				(△)～○	△は、均平の悪い所 オモダカ若干残る
		水見*	植壌土	5月10日	5月14日	5月20日		
	ライジンパワーフロアブル	砺波	砂壌土	5月4日	5月8日	5月14日	○	
ポッシブルフロアブル	砺波	砂壌土				○		

\*: 水口からの流し込み処理

ジャンボ剤	設置場所	土壌	代かき	田植え	処理	評価	備考
ライジンパワージャンボ	南砺	植壌土	5月6日	5月10日	5月18日	◎	
	射水**	植壌土	5月6日	5月10日	5月13日	◎	
	播中	植壌土	5月3日	5月6日	5月8日	○	
	八尾	植壌土	5月3日	5月6日	5月14日	△	△は、減水深大による
	大沢野	植壌土	5月4日	5月7日	5月13日	◎	
	大山	植壌土	5月6日	5月11日	5月15日	○	
エリジャンジャンボ	南砺	植壌土	5月6日	5月10日	5月11日	◎	
	滑川	砂壌土	5月6日	5月10日	5月13日	○	

\*\*\*: ライジンパワー ⇒ ニトウリユウの体系で3か所実施

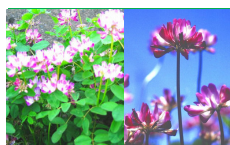
- ◎ 高い効果が認められる
- 効果安定している
- △ 場所によって残草することがある



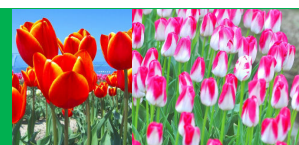
フロアブル剤の流し込み状況 (5・20 水見)



ジャンボ剤の処理と拡散状況 (5・14 八尾)



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。

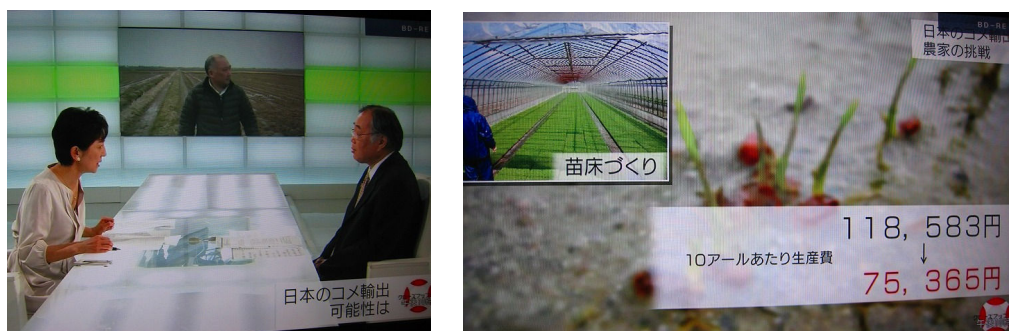


## § 2 コメについて考える⑧

### ～模索が始まっているコメ輸出の可能性、 求められる新たな輸出ノウハウの構築！～

少し前のことになるが、「日本のコメ輸出に挑む」というタイトルで放映されたNHKのクローズアップ現代を少なからぬ衝撃をもって視聴された方も多いのではないかと思います（4月14日放送）。

番組では日本のコメ農家の輸出への挑戦と、それを阻んでいる現状、さらには打開するために考えられる方策等々が体系的に紹介されていました。ここでは、放送から垣間見えた日本のコメ輸出の可能性についてあらためて考えてみたいと思います。



日本のコメ輸出の可能性を伝えたNHKクローズアップ現代（平成26年4月14日放送）

日本のコメ輸出の将来性は明るいであろうか？ それは番組の中で大泉一貫宮城大学特任教授が述べているように、減反政策が廃止される5年後においてコメ生産全体に関する制度設計がどのようなものになっているかにかかっているとんでもない過言ではないと思われる。

現在の日本米の最大の輸出先は香港で、しかも富裕層をターゲットにしていることから、高級で価格の高い日本米の需要は限られ大幅な需要増は期待できないとされている。一方では、近年、中間層からも日本米に対する人気徐々に高まってきており、需要の増加が期待できるものの、日本米の価格が高すぎて消費に結びついていないとされている。

このような実態から見えてくるのは、一握りの富裕層をターゲットにして日本の高級米同士が熾烈な競争で少ないパイを奪い合う現状から脱却し、中間層にも受け入れられる価格帯のコメを如何にして生産できるかということにコメ輸出の将来がかかっているということである。

現在の輸出米は、輸出先が明確なものに限って、転作田で栽培する減反制度の枠内で生産されたものであるが、同じ転作田で栽培される加工米や飼料米等には手厚い補助がある一方で、輸出米には補助金がない現状となっており、このことが農家にとって輸出米にメリットがない原因ともなっている。転作田で栽培される補助金を農家全体でプールし輸出に取り組んできたJA（富山；JAみな穂）では、現状の倍以上生産できるパイはあるが、これ以上の輸出米の生産は農家の収入増につながらず無理があるとしている。このように、現在は低価格帯のコメに対する需要と生産のミスマッチが生じているのである。

一方で、より低コストのコメの生産を目指そうという動きもみられる。良質米産地の新潟では鉄コーティングによる直播で生産コストの3割削減を目指した栽培に取り組もうとしている生産者もでてきており、国内をおろそかにするものではないが、将来を見据えた場合、安いコメでの海外展開も考えていきたいとしている（新潟；坪谷氏談）。現在国内で生産されるコメの平均価格240円/kgを3割削減しても140円/kg程度の外国産米と直ちに競争できる状況にはないが、日本米の品質を考慮すれば輸出の可能性も広がるものと考えられる（大泉特任教授）。

番組では、コメをご飯としての魅力を発揮させることの重要性も指摘していたがこれも日本米の需要を増やす大切な視点と思われる。いずれにしても、コメ輸出に関する新たなノウハウの構築を模索しつつ、減反政策が廃止される5年後には日本国内で生産されたコメが海外の農産物市場で大きく羽ばたけるような制度設計になることを期待したいものである。

§ 1 除草剤展示圃中間成績速報

～フロアブル剤やジャンボ剤に安定した効果、

均平不良や減水深の大きい圃場では効果に振れも！～・・・（名畑技術顧問）・・・1ページ

§ 2 コメについて考える⑧

～模索が始まっているコメ輸出の可能性、

求められる新たな輸出ノウハウの構築！～（名畑技術顧問）・・・・・・2ページ